

ごみ減量化に向けたワークショップ かわら版（開催結果報告）南巣子・長根自治会

平成29年7月22日（土）18:30～



滝沢市では、ごみの処理に関する環境及び資源の問題、ごみの処理に係る費用の問題など、今後「ごみの減量」が必ずや必要となり、市民一丸となって取り組むべきテーマと考え、各地域の皆さんにご協力を頂きワークショップ（意見交換会）を開催しました。

今回のワークショップは、ごみの減量について、色々なアイデアを出していただきながら、皆様で楽しく意見交換していただく場所・機会として、白熱した意見交換が交わされました。

グループ発表の準備中



A 班

ごみを減らすためにできること

実現性 ↑

効果 ↓ ↑

低い 高い

中型ごみをリサイクル！

スーパーのトレーの回収！

ストックヤードを各自治会で行ったほうが良い！

食品トレーの回収日を設けたほうが良い！

台所の生ごみ、ネットにたまった生ごみはできるだけ水分を取って出す

グループ発表の準備中



B 班

ごみを減らすためにできること

実現性 ↑

効果 ↓ ↑

低い 高い

有料化する方針があることを広く知らせること！

もっと積極的にごみコンポストの補助をするべき！

有料化で減量にはならない、一時的に減るが2～3年でリバウンドするという他市町村の話を見ました！

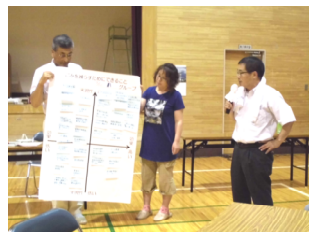
生ごみよりもバックなど包装用品のごみが多くなっており、行政からスーパー等へ減らすよう働きかけてほしい

有料化すると不法投棄が多くなる

- ごみを減らすことを子供達にもグループワークをしてもらいたい
- 各自がごみに対して意識を持つことが大切
- 衣類や家電についてリサイクルショップへの活用
- 再利用できるものにはポイントをつけることにより皆さん関心が出る
- 買い物の回数を減らす
- 市で資源ごみにポイントを与え再利用を促す
- 地域ぐるみでごみ減量コンテストを行い、一人ひとりの意識をごみを発生させない方向に向ける
- ごみちゃんセンターで祭りを実施し住民に減量の関心を持ってもらう

- 日常的に減量に努めていると思うことは、個人の努力だけでは限度があり、包装資材の生産者企業との協同も必要ではないか
- 子供会等の廃品回収でリサイクルできるものは実施する
- 出したごみの重量を計量できるようにして少なくなるよう努力する
- 衣類、食器、家具等不要になったものは福祉バンクに出している
- 食材は残さず食べる
- 書類の用紙は両面を利用する
- 個人宅の草は乾燥してから袋詰めを行っている

※上記は、提案された意見を基本的に原文記載としておりますが、同内容意見は、抜粋・組み合わせなどしております。今回は、A・B班の2グループでした。



A 班の発表です



B 班が発表しました



発表に集中して耳を傾けています



講評をいただきました

お忙しい中「ワークショップ」へご参加頂きました皆さま、大変有難うございました。
色々な意見、沢山のアイデアが出されました。今後、市民皆さまと、市役所の「協働」の大きなテーマになる「家庭ごみ減量化」にとって、推進への指針となる「ひとつひとつ」と考えております。今後とも、宜しくお願いいたします。

滝沢市役所
市民環境部 環境課